

2025年3月期

(2024年度)

第2四半期

(中間期)

決算概要

2024年11月1日

リコーリース株式会社

1. 2025年3月期 第2四半期 連結業績報告
2. 事業分野別の状況
3. 2023年度～2025年度 中期経営計画のトピックス
4. 2025年3月期 連結業績予想
5. 参考資料

1. 2025年3月期 第2四半期
連結業績報告

1. 中間純利益は増益

インベストメント事業の伸長や資産利回り改善等により、売上総利益は増益

人財を中心に事業基盤強化に向けた投資を継続し、販売費及び一般管理費が増加、営業利益は前年並み
政策保有株式の売却に加え前年の特別損失（投資有価証券評価損）の影響がなくなり、中間純利益は増益

2. 営業資産 11,864億円（前期末比+714億円）

リース&ファイナンス事業とインベストメント事業ともに営業資産を積み上げ、計画以上に良好な進捗

3. 2025年3月期 業績予想は期初予想から変更なし、配当予想を上方修正

通期予想に対する中間純利益の進捗率は56.3%と順調に推移

株主還元基本方針を踏まえ、より一層の利益還元が重要と考え、期末配当を期初予想より10円増配

※当資料において、営業資産は一部を除きリース債権流動化を控除しない残高を記載

※当資料において、「親会社株主に帰属する中間純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」を、それぞれ「中間純利益」及び「当期純利益」と表記

※当資料において、差引利益は売上高より資金原価を除く売上原価を差し引いた額

- 市場金利上昇により資金原価が増加する一方、インベストメント事業の伸長や資産利回り改善により、売上総利益は増益
- 人財投資を中心に事業基盤強化に向けた投資を実行し、販売費及び一般管理費が増加
- 通期予想に対して各利益は順調に推移

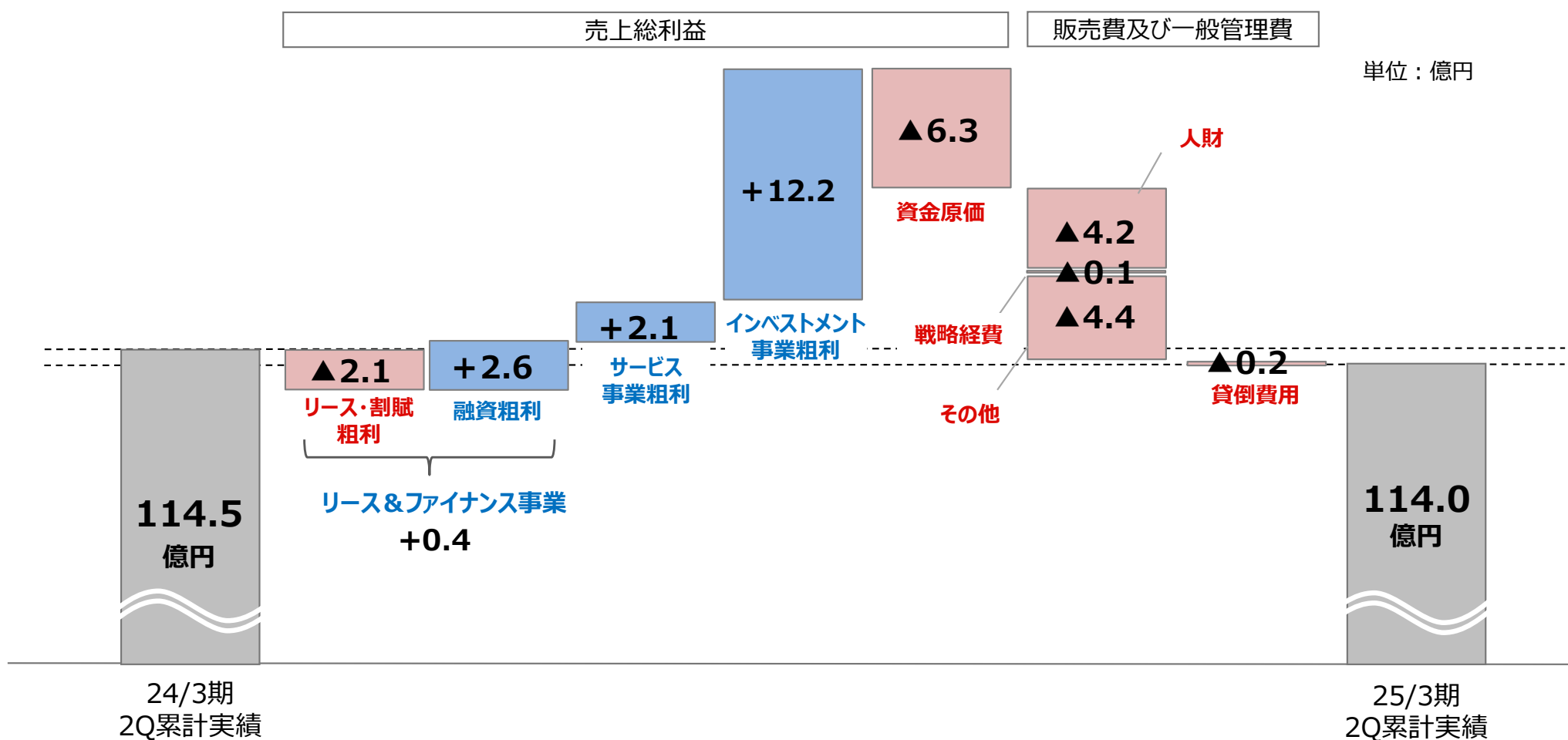
単位：億円

	2024/3期 2Q累計実績	2025/3期		2025/3期 期初通期予想	進捗率
		2Q累計実績	伸率		
売上高	1,553	1,537	△1.0%	3,150	48.8%
売上総利益	230	239	3.7%	475	50.4%
販売費及び一般管理費	116	125	7.8%	264	47.5%
営業利益	114	114	△0.5%	211	54.0%
経常利益	116	116	△0.1%	212	54.8%
中間純利益	53	82	54.0%	147	56.3%
			<u>前年差</u>		
1株当たり配当金（円）	75.00	80.00	5.00	165.00	—
1株当たり純利益（円）	174.37	268.46	94.09	476.89	—
配当性向	43.0%	29.8%	△13.2%	34.6%	—
ROA（総資産当期純利益率）	0.87%	1.28%	0.41%	1.14%	—
ROE（自己資本利益率）	5.0%	7.4%	2.4%	6.5%	—

※ROA及びROEの実績は、年換算した数値を記載

営業利益の前年比増減要因

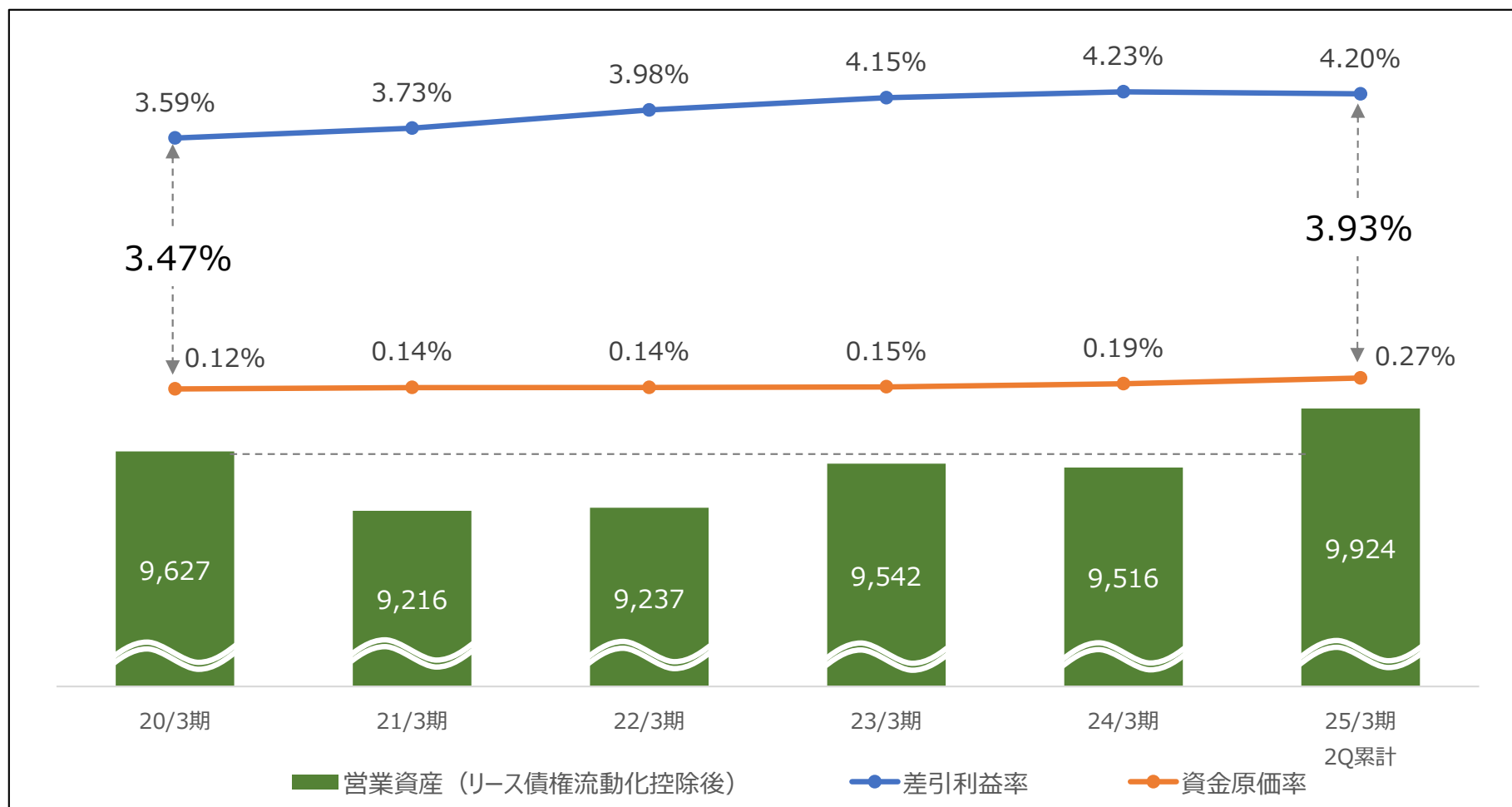
- 前年の太陽光発電設備に対する大口割賦案件の反動減による影響を除くと、売上総利益は全セグメントにおいて増益
- インベストメント事業において、信託受益権や発電事業が大きく伸長



差引利益率と資金原価率（リース&ファイナンス事業）

- 市場金利上昇前から資産利回り改善を継続。市場金利上昇局面においても、利幅を維持・拡大しながら営業資産を積み上げ、売上総利益の拡大を継続

単位：億円



※差引利益率：差引利益÷営業資産平均残高
 ※資金原価率：資金原価÷営業資産平均残高
 ※25/3期2Q累計は、差引利益・資金原価を年換算して算出

連結貸借対照表

- 信託受益権や融資の契約実行により貸貸資産や営業貸付金を積み上げ、資産及び負債は増加

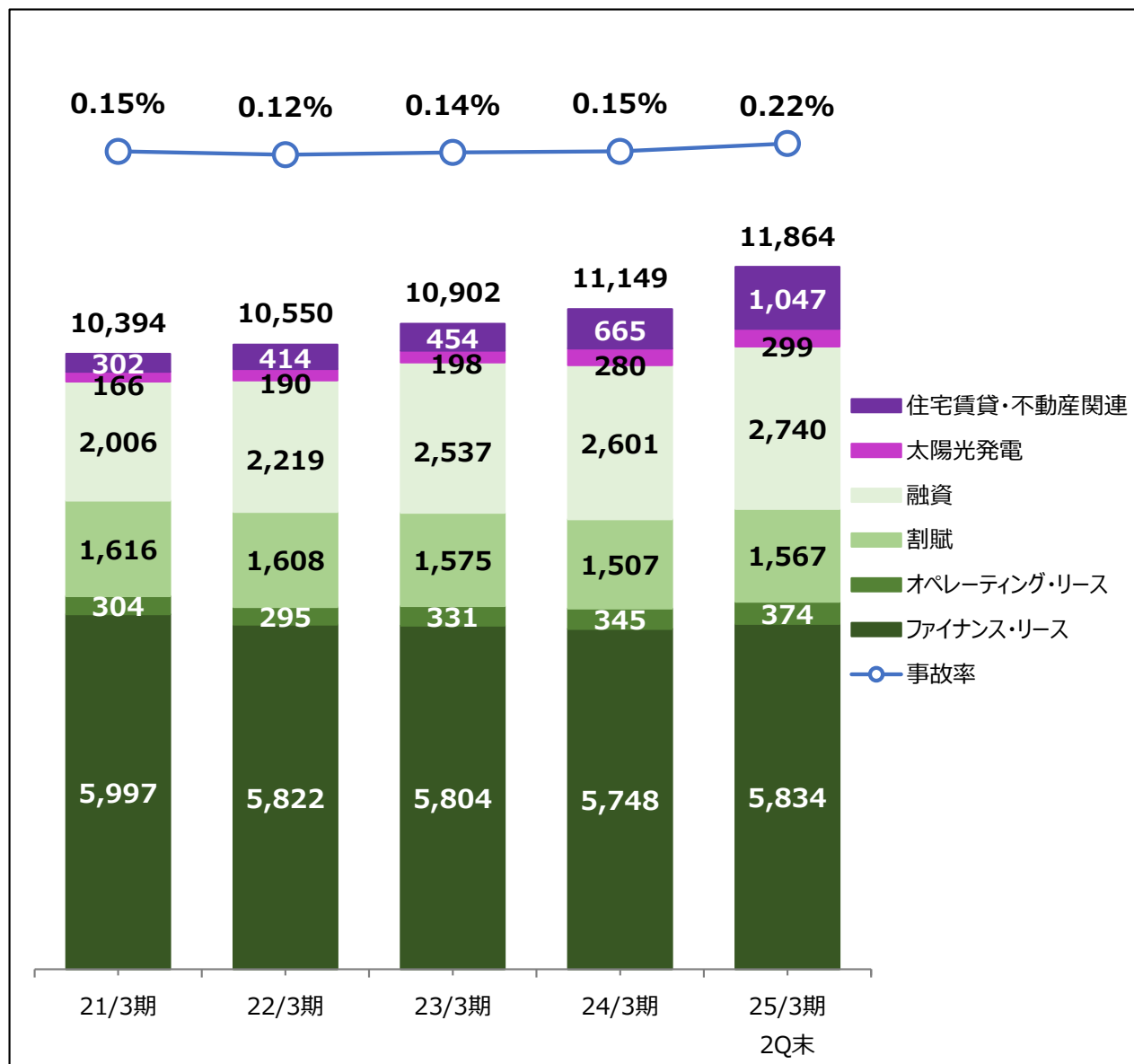
単位：億円

	2024/3期		2025/3期			2024/3期		2025/3期	
	期末	2Q末	前期末増減			期末	2Q末	前期末増減	
現金及び預金	49	36	△13	短期有利子負債 ※2	1,892	2,192	300		
リース債権及びリース投資資産	5,061	5,240	179	長期有利子負債	7,013	7,573	560		
割賦債権	1,751	1,824	73	債権流動化債務	210	149	△60		
営業貸付金	2,601	2,740	139	その他負債	1,138	1,183	45		
貸貸資産	894	1,285	390	負債 合計	10,253	11,098	844		
貸倒引当金 ※1	△126	△ 117	8	純資産 合計	2,219	2,276	57		
その他資産	2,240	2,363	123						
資産 合計	12,472	13,374	902	負債純資産 合計	12,472	13,374	902		

※1 貸倒引当金は、流動資産及び固定資産の合計を記載

※2 1年以内返済予定の長期債務（社債、長期借入金）は、短期有利子負債に含む

単位：億円



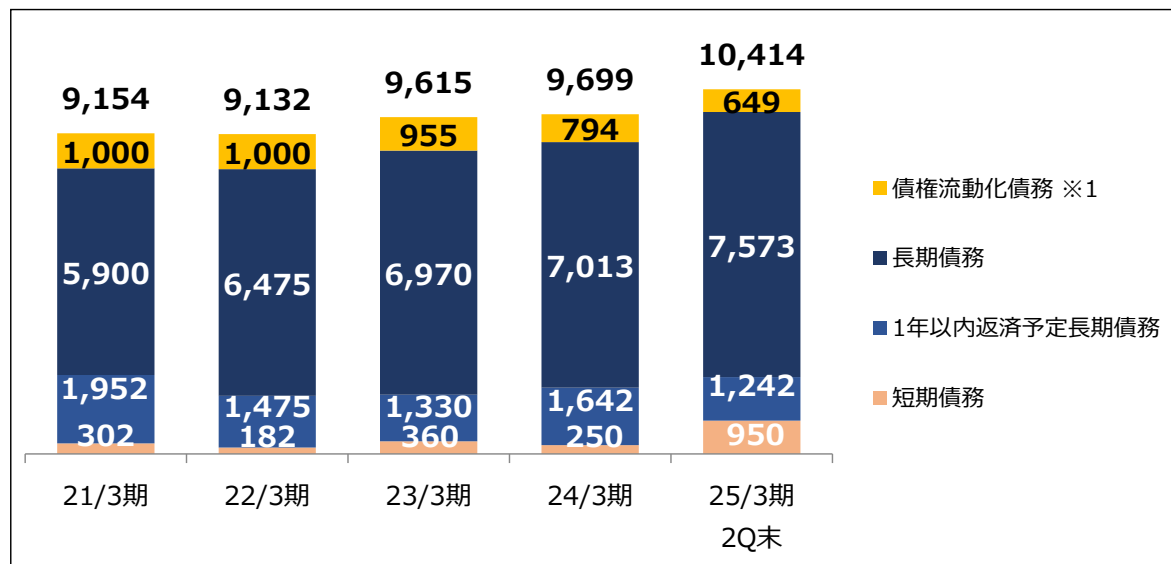
- 不動産分野を中心に営業資産が増加
- 契約実行高の増加により、ファイナンス・リースが増加に反転
- 融資等の事故解約の増加により一時的に事故率は上昇するも、概ね引当済みにつき業績への影響は軽微

※25/3期2Qリース債権流動化金額：593億円

※事故率 = 事故損失額 ÷ 営業資産平均残高
(25/3期2Qは、事故損失額を年換算して事故率を算出)

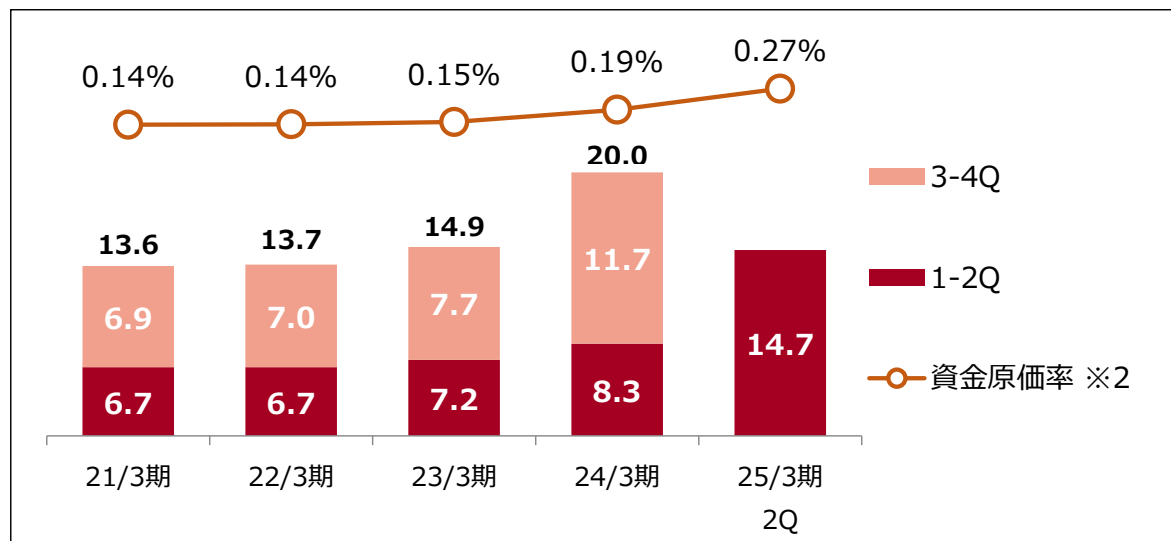
調達総額

単位：億円



資金原価・資金原価率

単位：億円



- 営業資産の拡大により有利子負債が増加
- 金利変動リスク・流動性リスクを考慮し資金調達を実施
- 市場金利上昇の影響を受け、資金原価、資金原価率はともに増加

※1 債権流動化債務は、オフバランス調達を含む残高を表示
 ※2 資金原価率 = 資金原価 ÷ 営業資産平均残高
 (25/3期2Qは、資金原価を年換算して資金原価率を算出)

2. 事業分野別の状況

事業分野別 業績サマリー

- 不動産分野やオフィス分野等の伸長により、差引利益が増加
- 不動産分野や設備投資分野が牽引し、契約実行高が増加、社内計画を上回り順調に進捗
- 新規契約利回りは引き続き改善し、資産利回り向上が継続

単位：億円

	差引利益			契約実行高		
	2024/3期	2025/3期		2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
オフィス分野	75	79	5.4%	574	610	6.3%
設備投資分野	47	48	1.8%	450	554	23.1%
医療・ヘルスケア分野	28	29	1.0%	147	152	3.4%
不動産分野	34	40	18.1%	583	792	35.7%
環境分野	22	23	4.5%	258	208	△19.1%
as a Service分野	13	13	△1.7%	61	87	41.7%
BPO分野	16	19	16.5%	—	—	—
合計	239	254	6.2%	2,076	2,407	15.9%

※契約実行高：リースは賃貸用資産の取得金額、割賦は割賦債権から割賦未実現利益を控除した金額

オフィス分野

- 資産利回り改善や再リース増加により、差引利益が増加
- パソコンを中心に情報関連機器の契約実行高が増加

業績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高※	581	576	△0.8%
売上原価※	505	497	△1.7%
差引利益	75	79	5.4%

契約実行高

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	574	610	6.3%
オフィス分野 合計	574	610	6.3%

設備投資分野

- 資産利回りの改善等により、差引利益は増加
- 複数の大口案件に加え、重点分野である建機・車両の伸長等により契約実行高が増加

業績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	485	477	△1.6%
売上原価	437	429	△2.0%
差引利益	47	48	1.8%

契約実行高

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	450	542	20.6%
融資	0	11	2,097.8%
設備投資分野 合計	450	554	23.1%

※2024/3期2Q決算まで設備投資分野・環境分野・不動産分野の売上高・売上原価として計上していた一部取引を、2024/3期3Q決算以降は顧客の属性によりオフィス分野の売上高・売上原価として計上

医療・ヘルスケア分野

- 資産利回りの改善が継続し、差引利益は増加
- 開業医向け融資が伸長し、契約実行高が増加

業績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	137	136	△0.7%
売上原価	108	107	△1.2%
差引利益	28	29	1.0%

契約実行高

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	125	121	△2.9%
融資	22	31	38.5%
医療・ヘルスケア分野 合計	147	152	3.4%

不動産分野

- 信託受益権や融資を中心に差引利益が増加
- 物流施設向けの信託受益権への投資が大きく伸長し、契約実行高が増加

業績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	77	83	8.5%
売上原価	42	43	0.9%
差引利益	34	40	18.1%

契約実行高

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	10	11	11.7%
融資	479	322	△32.8%
住宅賃貸	17	5	△67.3%
不動産関連	75	452	497.9%
不動産分野 合計	583	792	35.7%

環境分野

- 前年の大口割賦債権の早期返済の反動により売上高が減少、好調な売電収益等により増益
- 前年の大口案件の反動により、契約実行高は減少

業績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	145	139	△3.9%
売上原価	122	116	△5.5%
差引利益	22	23	4.5%

契約実行高

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	173	128	△25.8%
融資	10	32	197.8%
太陽光発電	74	40	△45.3%
その他	-	7	-
環境分野 合計	258	208	△19.1%

as a Service分野

- 前年のコロナ関連レンタル特需の反動により減益
- Windows10のサポート終了特需に対して、パートナー企業との連携強化によりパソコンを中心に契約実行高が増加

業績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	91	84	△7.6%
売上原価	77	71	△8.7%
差引利益	13	13	△1.7%

契約実行高

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
リース・割賦	61	87	41.7%
as a Service分野 合計	61	87	41.7%

BPO分野

- 集金代行・介護ファクタリングともに、既存顧客との取引が堅調に推移し、新規顧客との取引も順調に獲得
- 取扱件数及び取扱高が増加し、業績伸長

業績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
売上高	34	38	9.2%
売上原価	18	18	2.7%
差引利益	16	19	16.5%

営業実績

単位：億円

	2024/3期	2025/3期	
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率
集金代行 取扱件数 (万件)	1,507	1,624	7.8%
介護ファクタリング取扱高	447	464	3.8%

リース・割賦 契約実行高 (機種別)

- パソコンの入替需要や大口案件の獲得により、情報関連機器が伸長
- 新規契約利回りが引き続き改善

単位：億円

	2024/3期	2025/3期		リース事業協会 (4月-9月累計) リース設備投資額伸率
	2Q累計実績	2Q累計実績	伸率	
事務用・情報関連機器	659	753	14.1%	10.6%
医療機器	139	149	7.2%	△6.2%
産業工作機械	201	152	△24.6%	△15.7%
商業・サービス業用機器	63	63	0.6%	12.9%
車両・輸送用機器	110	126	14.3%	23.1%
その他	220	257	17.1%	25.7%
リース・割賦 契約実行高 合計	1,395	1,503	7.7%	10.7%

3. 2023年度～2025年度 中期経営計画のトピックス

中期経営計画の戦略は参考資料をご参照ください



トピックス①： as a Service分野

Windows10のサポート終了等によるパソコン需要の高まりへの対応

■ 国内パソコン市場とテクルントパソコン購入台数

- ✓ 2025年のWindows10のサポート終了等を控え、市場規模は拡大が見込まれる
- ✓ 当社グループのテクルントは、2019年～20年頃のWindows7サポート終了後、コロナ禍におけるパソコン需要も捉え、購入台数は好調に推移

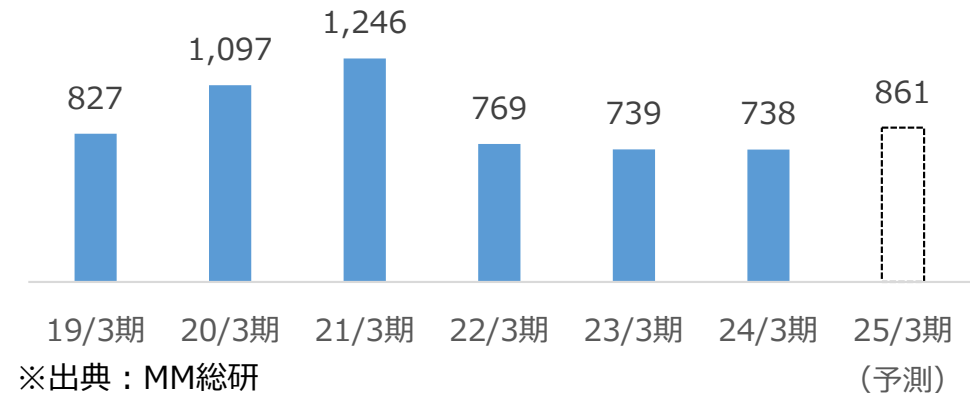
■ 今後の需要の取り込みへ向けて

- ✓ PC-LCM（パソコン調達～廃棄のライフサイクルを管理）のメリット訴求
- ✓ 各パートナー企業とともに、パソコンに紐づくサービスをセットにしたレンタルの提供

次の需要期を捉えるとともに、
企業のIT機器管理に伴う負担軽減を進める

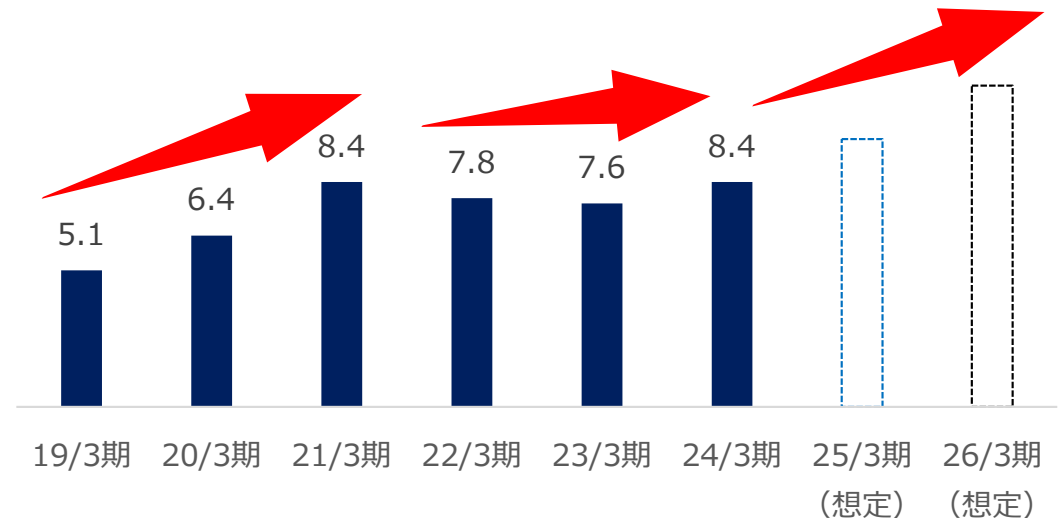
国内パソコン市場予測

(単位：万台)



テクルントレンタルパソコン購入台数

(単位：万台)



介護分野における課題解決の取り組み

■ 取り組み① Welfareすずらんの介護施設運営

- 当社グループのWelfareすずらんが運営する施設のDXを推進し、従事者・利用者様ともに安心・安全な質の高いサービスの提供へ向け、実証実験を実施中
- 上記サービス等を実装した、新施設の開設を複数計画

■ 取り組み② リコーリースにおける介護事業者支援

集金代行

介護
ファクタリング

建物リース

介護事業者におけるサービス利用料の決済ニーズ、および資金繰りを支援（約7,000社）

介護施設の新規・増設に伴う資金需要に対し、建物リースの取り扱いを拡大

(事例) 見守りロボットの導入

- 当社出資先のエイアイビューライフ株式会社が提供する見守りロボットを活用し、介護施設の居室内の危険予兆動作を検知
- 急な容態変化等への迅速な対応により、利用者様の安心感につながるほか、介護事業者としても付加価値提供による経済性の向上が見込める

※見守りロボットイメージ

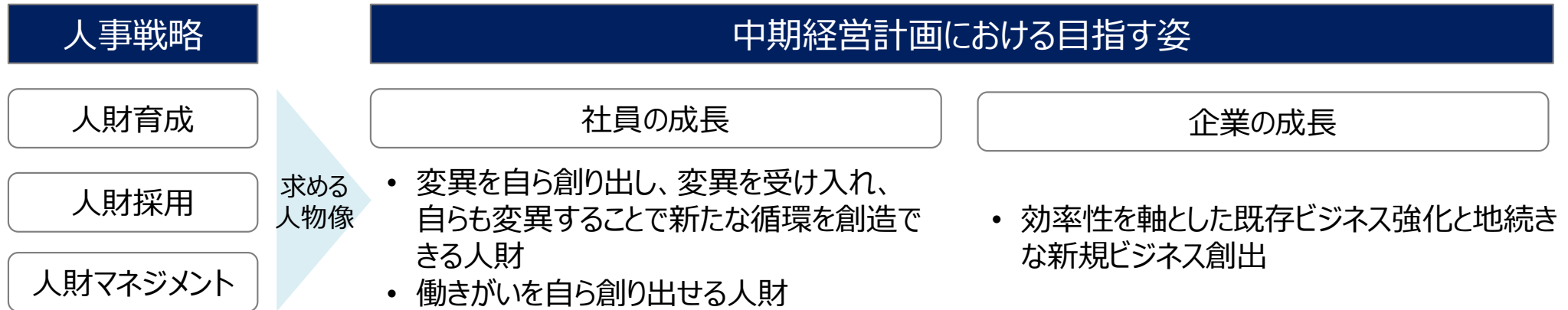


- 当社グループの総力を挙げて介護事業者向けサービスを開発し、「介護事業者」・「介護事業者支援」両側の立場から、介護分野における課題解決を目指す

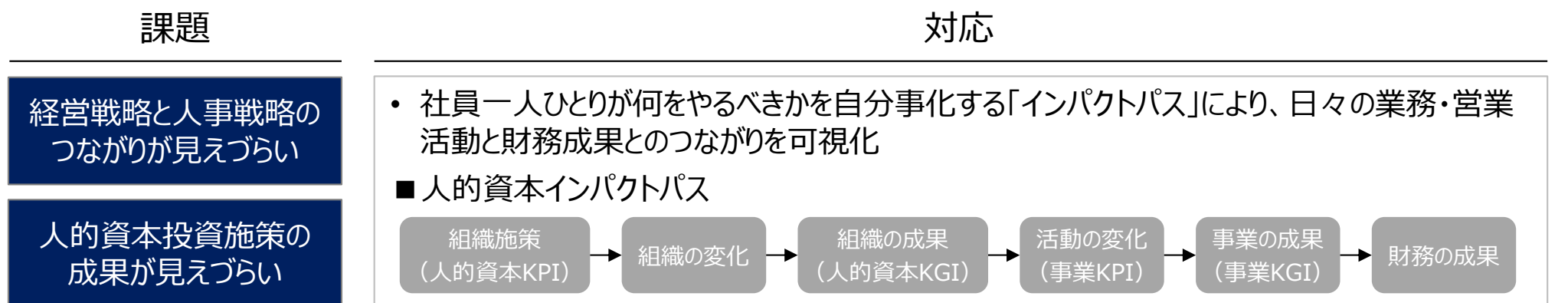


人事戦略における人的資本インパクトパスの展開

■ 人事戦略全体像



■ 人事戦略展開に当たっての課題



➤ 社内での展開を行うとともに人財ポートフォリオの可視化も進め、人的資本投資の効果最大化を目指す

※人的資本インパクトパスの詳細については、リコーリース統合報告書2024 P36-37をご覧ください
URL : https://www.r-lease.co.jp/sustainability/integrated_report/

4. 2025年3月期 連結業績予想

- 業績予想は期初から変更なく、資金原価と販売費及び一般管理費の増加を売上総利益が吸収し、経常利益を除き増益予想
- 株主還元基本方針を踏まえ、財務基盤の安定性を維持したうえで、より一層の利益還元が重要と考え、
配当予想は期末配当を10円増配し、1株当たり配当金（年間）は175円、配当性向は36.7%に上方修正

単位：億円

	2024/3期		2025/3期	
	通期実績	伸率	期初予想	伸率
売上高	3,083	3.2%	3,150	2.2%
売上総利益	455	5.3%	475	4.2%
販売費及び一般管理費	245	11.4%	264	7.5%
営業利益	210	△1.0%	211	0.4%
経常利益	215	△0.1%	212	△1.6%
当期純利益	112	△24.2%	147	30.3%
		前年差		前年差
1株当たり配当金（円）	150.00	5.00	165.00	15.00
1株当たり純利益（円）	365.89	△116.59	476.89	111.01
配当性向	41.0%	10.9%	34.6%	△6.4%
ROA（総資産当期純利益率）	0.91%	△0.32%	1.14%	0.24%
ROE（自己資本利益率）	5.2%	△2.0%	6.5%	1.3%

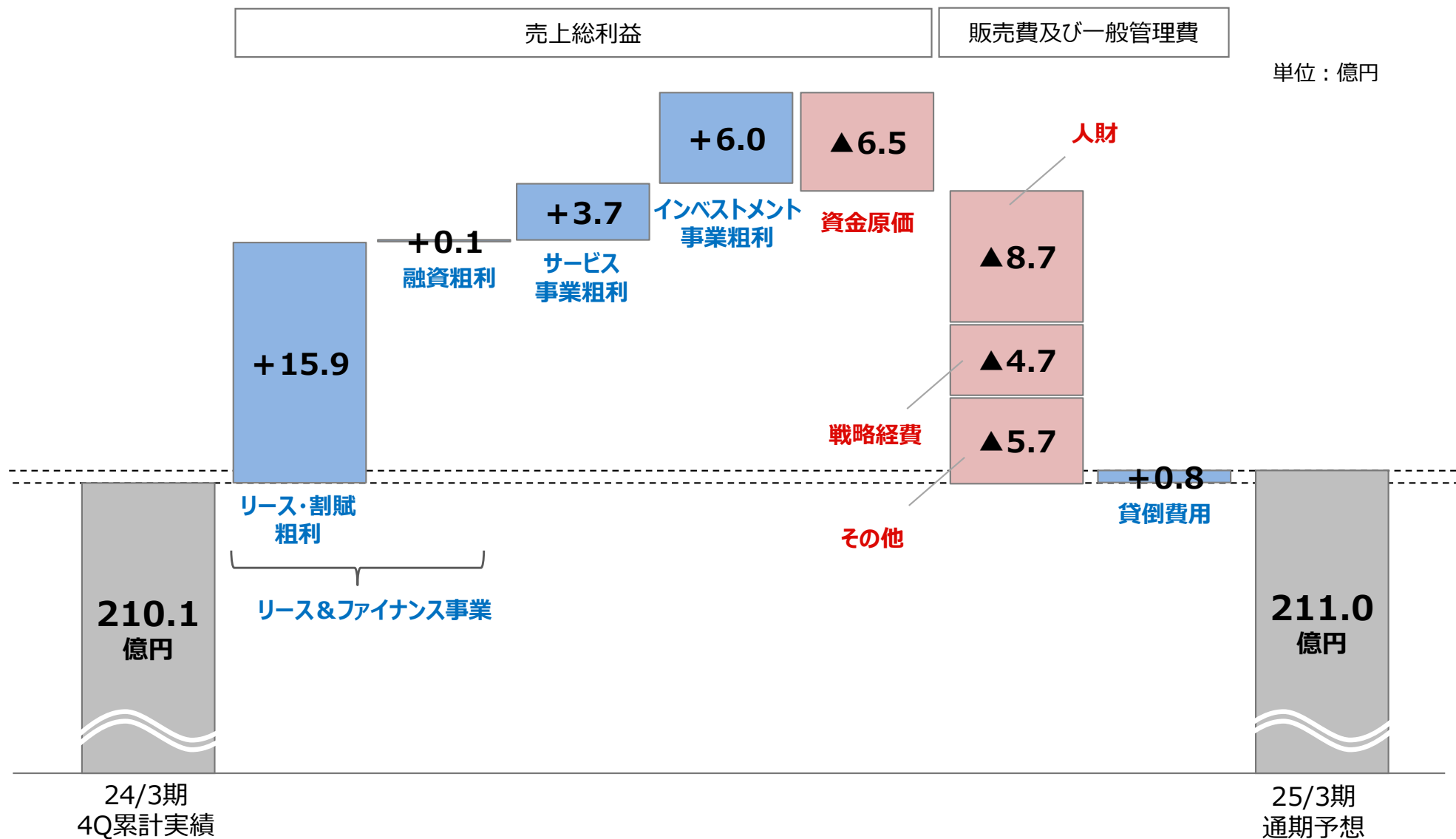
配当予想を上方修正

1株あたり配当金 165円→175円（前年差15円→25円）

配当性向 34.6%→36.7%（前年差△6.4%→△4.3%）

営業利益の前年比増減要因 予想

- 資産利回りの改善、再リース・物件売却収益等を要因として、リース・割賦が業績を牽引
- 市況の状況から資金原価は増加。人財投資を中心とした事業基盤強化のための投資を継続



営業資産の内訳 予想

- 融資やインベストメント事業の新規契約実行により、営業資産は750億円の増加を予想
- 不動産分野における物流施設・レジデンス向け融資や信託受益権への投資を拡大

単位：億円

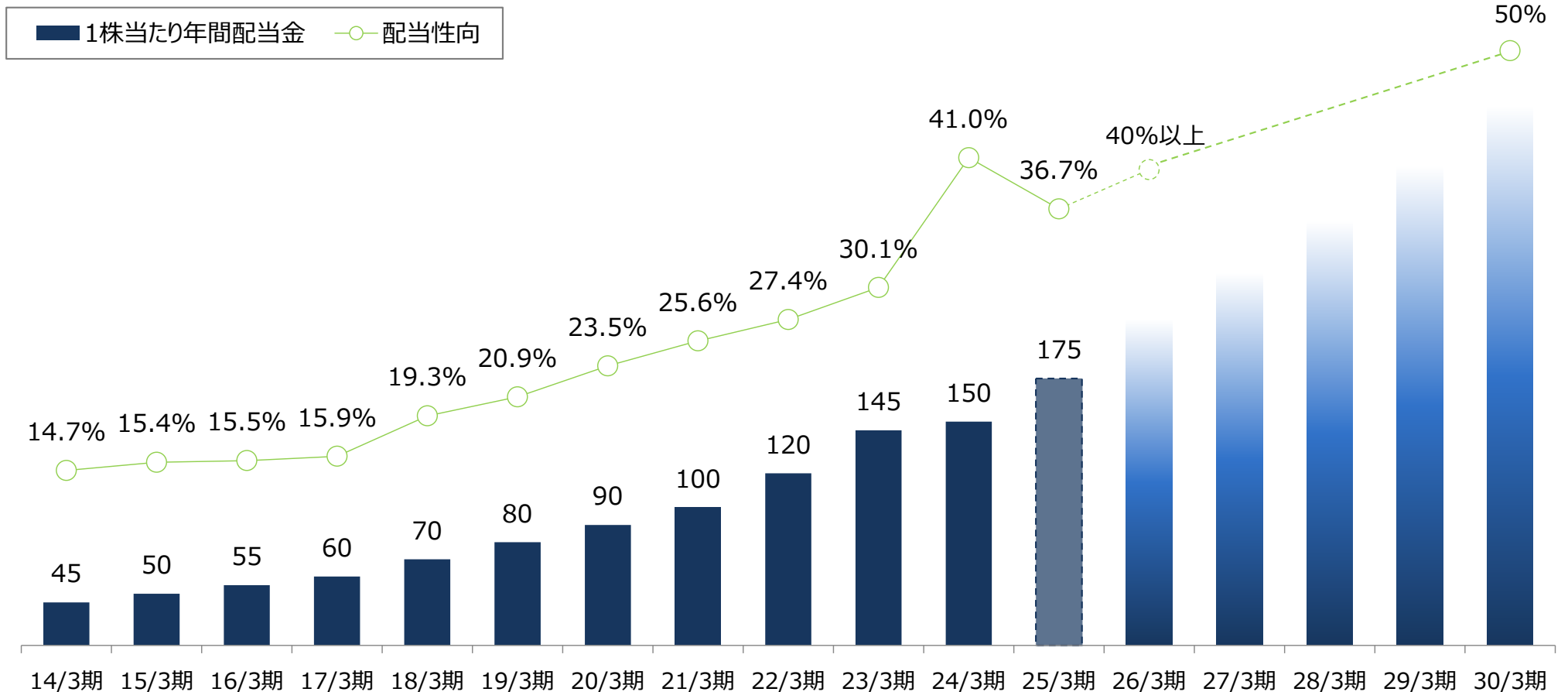
	2024/3期		2025/3期	
	期末	前年増減	期末予想	前年増減
ファイナンス・リース	5,748	△55	5,850	101
オペレーティング・リース	345	13	380	34
リース計	6,094	△41	6,230	135
割賦	1,507	△68	1,530	22
リース・割賦 合計	7,602	△109	7,760	157
融資	2,601	64	2,960	358
リース&ファイナンス事業	10,203	△45	10,720	516
インベストメント事業	945	292	1,180	234
営業資産 合計	11,149	247	11,900	750



株主還元基本方針

配当の累進性と業界トップクラスの還元水準を意識し、持続的な成長と適正な資本構成及び財務体質の強化を図り、株主還元の拡充を目指す。配当性向は26/3期に40%以上、30/3期に50%を目安とする

単位：円



5. 參考資料

単位：億円

	2024/3期		2025/3期		2025/3期	
	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	伸率	通期予想	伸率
売上高	1,553	4.2%	1,537	△1.0%	3,150	2.2%
売上原価	1,322	4.0%	1,298	△1.9%	2,675	1.8%
資金原価	8	16.0%	14	76.1%	26	32.9%
売上総利益	230	5.2%	239	3.7%	475	4.2%
販売費及び一般管理費	116	19.0%	125	7.8%	264	7.5%
人件費	59	13.2%	63	7.1%	131	7.1%
貸倒引当金繰入額	2	435.3%	3	8.8%	13	△5.9%
営業利益	114	△5.8%	114	△0.5%	211	0.4%
経常利益	116	△6.1%	116	△0.1%	212	△1.6%
中間純利益	53	△36.6%	82	54.0%	147	30.3%

■ 売上高及び損益

単位：億円

	2024/3期		2025/3期	
	2Q累計実績	伸率	2Q累計実績	伸率
売上高	1,553	4.2%	1,537	△1.0%
リース&ファイナンス事業	1,481	3.4%	1,440	△2.8%
サービス事業	43	32.6%	46	6.0%
インベストメント事業	28	10.6%	50	79.6%
セグメント利益	126	△4.9%	126	0.4%
リース&ファイナンス事業	113	△4.5%	104	△8.1%
サービス事業	6	△8.2%	7	10.9%
インベストメント事業	5	△8.6%	14	158.5%

■ 営業資産

単位：億円

	2024/3期		2025/3期	
	期末	増減	2Q末	前期末増減
営業資産	11,149	247	11,864	714
リース&ファイナンス事業	10,203	△45	10,517	313
インベストメント事業	945	292	1,346	400

中期経営計画 財務目標進捗

	2023/3期		2024/3期		2025/3期		2026/3期 中期経営計画 目標値
	実績	特殊要因 除く※1	実績	特殊要因 除く※2	予想	伸率 ※3	
営業利益	212億円	200億円	210億円	210億円	211億円	0.4%	235億円
当期純利益	148億円	140億円	112億円	148億円	147億円	30.3%	160億円
ROA	1.23%	1.17%	0.91%	1.20%	1.14%	0.24%	1.1%以上
ROE	7.2%	6.8%	5.2%	6.9%	6.5%	1.3%	7%以上
配当性向	30.1%	31.7%	41.0%	31.1%	36.7%	△4.3%	40%以上

※1 コロナ関連レンタル特需（レンタル延長収益:+11億円）による一過性の利益を計上

※2 特別損失（投資有価証券評価損:△51億円）による一過性の損失を計上

※3 ROA/ROE/配当性向は前年差を表示



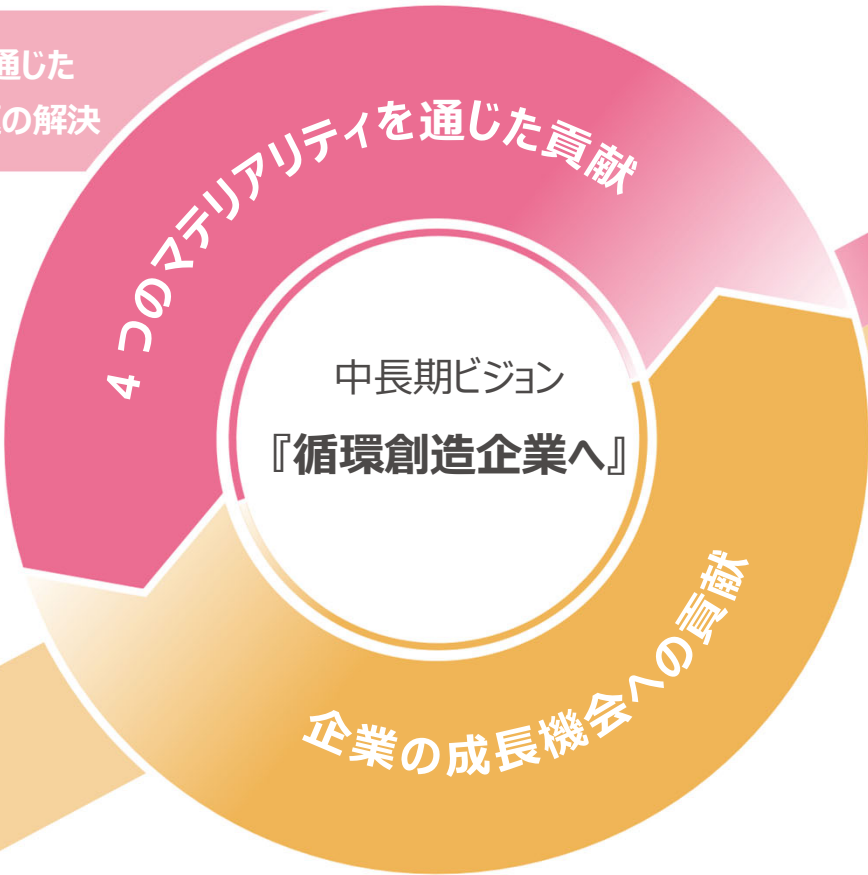
リコーリースの目指す姿

経営理念

2023～2025年度 中期経営計画における戦略立案の軸

- 社会課題**
- ▶ 気候変動対応
 - ▶ 脱炭素社会の実現
 - ▶ 労働人口減少
 - ▶ 社会インフラの老朽化
 - ▶ デジタル化
 - ▶ 地域格差 等

事業を通じた
社会課題の解決



私達らしい
金融・サービスで
豊かな未来への
架け橋となります。

リコーリースの DNA

バンダーリースを
軸とした
トランザクションデータ
の活用

経営理念

私達らしい金融・サービスで豊かな未来への架け橋となります。

中長期ビジョン

『循環創造企業へ』

事業成長戦略

新たなビジネスモデル
への挑戦

事業&サービス付加
による多様化

効率を伴う
更なる拡大

as a
Service

BPO

不動産

環境

介護

オフィス

医療・
ヘルスケア

設備投資

組織能力
強化戦略

事業成長につながる
チャレンジの促進
及び組織の活性化

社会変化に合わせた
柔軟なシステム
及び業務体制の構築

関係会社を含めた
ガバナンス強化

戦略立案
における軸

企業の成長機会

×

4つのマテリアリティ






リコーリースのDNA

ベンダーリースを軸としたトランザクションデータの活用

社会課題

事業を通じた社会課題の解決

収益性が高く、より事業機会の大きい分野へリソースを投入し、次の柱の構築を進める

戦略	事業分野	施策
新たな ビジネスモデル への挑戦	 as a Service	<ul style="list-style-type: none"> ▶ DaaS（Device as a Service）による、大手顧客への価値提供 ▶ リース商材をはじめとした、as a Service化に向けたアライアンス強化
	 BPO	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 集金代行サービスの更なる取り扱い拡大と、決済周辺サービス拡充 ▶ 海外からのビジネス渡航需要を捉えたサービス提供の拡大
事業&サービス 付加による 多様化	 不動産	▶ 多様な資産積み上げと、資産価値を向上するサービスの開発
	 環境	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 発電所のアセットマネジメントサービスを含めた、事業の多様化 ▶ 他電源へのチャレンジ、及び蓄電池分野の研究
	 介護	▶ Welfareすずらんの事業運営と、業界ノウハウの蓄積

当社の成長を支える最重要基盤

効率を伴う更なる拡大

 オフィス

 医療・ヘルスケア

 設備投資

事業成長を支える組織能力、ガバナンスの強化を図る

戦略

事業成長につながる
チャレンジの促進
及び組織の活性化

社会変化に合わせた
柔軟なシステム
及び業務体制の構築

関係会社を含めた
ガバナンス強化

施策

- ▶ 挑戦する人財の育成、及び挑戦する風土の醸成に資する制度の強化
- ▶ 変化する外部環境に柔軟に対応する制度の構築と、多様な人財が活躍できる組織づくり
- ▶ リース関連業務システムの順次切り替えによる、自動化及び効率性の向上
- ▶ インフラの刷新とサイバーセキュリティの強化
- ▶ IT管理・統制の向上によるITガバナンス強化
- ▶ 外部とのコミュニケーションを通じた、サステナビリティ経営の進化
- ▶ グループ各社との連携強化と、戦略統合を通じた事業拡大

本資料の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

リコーリース株式会社

経営企画部

Tel : 050-1702-4203
Email : ir@r-lease.co.jp
URL : <https://www.r-lease.co.jp>